

交通事故多発要因分析と考察

1 高齢者の交通事故

1-1 高齢者の交通事故分析（高齢者の事故はなぜ多い？）

（1）高齢者の交通事故状況

過去10年間（H13→H22）の高齢者の交通事故状況の推移をみると、
 ○発生件数は、H15に3,000件超となって以降、3,200件から3,700件台の間で増減を繰り返している。
 ○死者数は、増減を繰り返しているが、全体的には減少傾向にある。しかし、全死者に占める高齢死者数の割合が、H17年を除き、H14以降、毎年半数を上回っている。
 ○また、高齢者人口10万人当たりの高齢死者数は、H17年を除き、毎年全国ワースト上位にある。

<表 1-1> 高齢者の交通事故状況の推移

		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
高齢者	発生件数(件)	2,790	2,847	3,233	3,423	3,557	3,498	3,455	3,251	3,726	3,712
	傷者数(人)	2,022	2,071	2,333	2,376	2,423	2,435	2,302	2,150	2,353	2,375
	死者数(人)	53	45	50	46	34	48	42	38	38	45
	高齢死者数の割合※1(%)	39.6%	54.2%	52.1%	53.5%	45.3%	50.0%	53.8%	62.3%	54.3%	69.2%
	全国順位(位)	ワースト25位	ワースト4位	ワースト6位	ワースト6位	ワースト25位	ワースト20位	ワースト15位	ワースト7位	ワースト19位	ワースト1位
	人口10万人当たり高齢死者数※2(人)	24.1	20.0	22.2	20.1	14.7	20.9	17.9	15.8	15.3	17.7
	人口10万人当たり高齢死者数全国平均(人)	14.1	13.3	13.2	12.4	11.8	11.3	10.6	9.4	8.7	8.5
	全国順位(位)	ワースト1位	ワースト9位	ワースト2位	ワースト7位	ワースト19位	ワースト1位	ワースト3位	ワースト7位	ワースト1位	ワースト1位

- 1) 警察庁及び香川県警察本部の交通事故統計による
- 2) 高齢者死者数の割合(※1)は、全死者数に占める高齢死者数の割合(%)
- 3) 人口10万人当たりの高齢者死者数(※2)は、高齢者人口10万人当たりの高齢死者数(%)
- 4) 発生件数及び傷者数は、統計処理年月日を基に集計したもの。死者数は、発生日月日を基に集計したもの
- 5) 人口は、国勢調査及び総務省統計局の推計人口、香川県人口移動調査報告（香川県統計調査課）による10月1日現在のもの

(2) 高齢化率と運転免許保有高齢者数の推移

■全国に比べ運転免許保有者に占める高齢者の割合が高い 高齢化率の上昇以上に免許保有高齢者数が増加

過去10年間（H13→H22）の高齢化率と運転免許保有高齢者数の推移について、全国と比較したところ、

- 運転免許保有者（全年齢）に占める高齢者割合の上昇幅（H13→H22 増減率、以下同じ）は、全国を下回っているが（香川県 5.5%ポイント、全国 5.6%ポイント）、高齢者人口に占める運転免許保有高齢者の割合の上昇幅は、全国を上回っている（香川県 11.0%ポイント、全国 10.1%ポイント）。また、いずれも各年の割合が常に全国を上回っている。なお、H22年の運転免許保有者（全年齢）に占める高齢者割合は全国第10位（降順）である。
- 運転免許保有者（全年齢）に占める高齢者割合の上昇幅（香川県 5.5%ポイント、全国 5.6%ポイント）は、全国と同様に、高齢化率の上昇幅（香川県 4.3%ポイント、全国 5.0%ポイント）を上回っており、その上昇率は全国に比べて高い。
- H22年における運転免許保有高齢者に占める65歳～74歳の高齢者と75歳以上の高齢者の割合を全国と比較したところ、75歳以上の高齢者の割合が全国に比べ5.6%ポイント高い（香川県 33.1%、全国 27.5%）。

<表 1-2> 高齢者人口と運転免許保有高齢者数の推移

		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	構成比	H13→H22 増減率(%)	H13→H22 ポイント差		
高齢者人口 (10月1日現在)	香川県	全年齢人口(千人)	1,023	1,022	1,020	1,019	1,012	1,009	1,006	1,003	1,000	996		△ 2.6		
		65歳～74歳(千人)	121	121	120	118	118	119	119	119	121	119	46.9%	△ 1.8		
		75歳以上(千人)	99	103	108	113	117	122	126	130	133	134	53.1%	36.0		
		高齢者全体(千人)	220	225	228	231	236	240	245	249	254	253	100.0%	15.2		
		高齢化率(%)	21.5	22.0	22.4	22.6	23.3	23.8	24.4	24.9	25.4	25.8			4.3	
		全国ポイント差①	3.5	3.5	3.4	3.1	3.1	3.0	2.9	2.8	2.7	2.8			△ 0.7	
※参考 H22高齢化率 香川県【17位】	全国	全年齢人口(千人)	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770	127,771	127,692	127,510	128,057		0.6		
		65歳～74歳(千人)	13,336	13,585	13,764	13,809	14,070	14,438	14,760	14,998	15,296	15,173	51.9%	13.8		
		75歳以上(千人)	9,532	10,043	10,547	11,067	11,602	12,166	12,703	13,218	13,710	14,072	48.1%	47.6		
		高齢者全体(千人)	22,869	23,628	24,311	24,876	25,672	26,604	27,464	28,216	29,005	29,245	100.0%	27.9		
		高齢化率(%)	18.0	18.5	19.1	19.5	20.2	20.8	21.5	22.1	22.8	23.0			5.0	
		全国ポイント差②	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2			△ 0.1	
運転免許 保有者 (12月末現在)	香川県	全年齢(千人)	651	657	663	668	670	672	675	677	678	678		4.1		
		65歳～74歳(千人)	67	70	71	72	73	76	79	83	87	86	66.9%	28.7		
		75歳以上(千人)	20	23	26	28	31	33	36	38	40	42	33.1%	107.5		
		高齢者全体(千人)	87	93	97	100	104	109	115	121	126	128	100.0%	47.2		
		全年齢に占める 高齢者割合(%)	13.4	14.1	14.6	15.0	15.5	16.2	17.0	17.8	18.6	18.9			5.5	
		全国ポイント差②	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2			△ 0.1	
		高齢者人口に 占める割合(%)	39.6	41.2	42.4	43.5	44.1	45.4	46.8	48.5	49.9	50.6			11.0	
		全国ポイント差③	6.1	6.2	6.2	6.2	6.1	6.4	6.5	6.6	6.9	7.0			0.9	
	※参考 H22運転免許保 有者に占める高 齢者の割合 香川県【10位】	全国	全年齢(千人)	75,551	76,534	77,468	78,247	78,799	79,330	79,907	80,448	80,812	81,010		7.2	
			65歳～74歳(千人)	6,113	6,508	6,846	7,113	7,401	7,812	8,240	8,786	9,231	9,249	72.5%	51.3	
		75歳以上(千人)	1,541	1,751	1,945	2,158	2,366	2,577	2,831	3,041	3,240	3,505	27.5%	127.5		
		高齢者全体(千人)	7,654	8,260	8,791	9,272	9,766	10,389	11,071	11,827	12,471	12,754	100.0%	66.6		
		全年齢に占める 高齢者割合(%)	10.1	10.8	11.3	11.8	12.4	13.1	13.9	14.7	15.4	15.7			5.6	
		高齢者人口に 占める割合(%)	33.5	35.0	36.2	37.3	38.0	39.0	40.3	41.9	43.0	43.6			10.1	

- 1) 人口は、国勢調査及び総務省統計局の推計人口、香川県人口移動調査報告(香川県統計調査課)による10月1日現在のもの
- 2) 運転免許保有者数の全国は「交通事故統計年報」(警察庁交通局)香川県は「香川の交通」(香川県警察本部)
- 3) 「全国ポイント差①」＝「香川県高齢化率」－「全国高齢化率」
「全国ポイント差②」＝「香川県全年齢に占める高齢者割合」－「全国全年齢に占める高齢者割合」
「全国ポイント差③」＝「香川県高齢者人口に占める割合」－「全国高齢者人口に占める割合」
- 4) 単位未満は四捨五入しているため、合計の数字と内訳等が一致しない場合がある。

(3) 市町別運転免許保有高齢者数

H22年における高齢者の運転免許保有状況を市町別にみると、
 ○運転免許保有者（全年齢）に占める高齢者割合が上位（構成比③降順の1～5位）にある市町や、高齢者人口に占める運転免許保有高齢者の割合が上位（構成比④降順の1～5位）にある市町、運転免許保有高齢者に占める75歳以上の高齢者の割合が上位（構成比②降順の1～5位）にある市町は郡部が多い。

<表 1-3> 市町別運転免許保有高齢者数

	運転免許保有者										高齢者人口 c		
	65歳～74歳	構成比①	順位	75歳以上	構成比②	順位	高齢者合計 a	構成比③ a/b	順位	構成比④ a/c		順位	全年齢 b
高松市	31,836	70.8%	2	13,120	29.2%	16	44,956	16.0%	16	48.0%	11	280,565	93,667
丸亀市	9,118	69.4%	3	4,018	30.6%	15	13,136	17.4%	15	51.9%	8	75,419	25,323
坂出市	5,157	67.4%	5	2,491	32.6%	13	7,648	20.4%	11	47.3%	12	37,466	16,158
善通寺市	2,930	65.0%	10	1,578	35.0%	7	4,508	19.8%	13	52.3%	6	22,794	8,614
観音寺市	6,071	63.2%	13	3,535	36.8%	5	9,606	21.8%	10	55.0%	3	43,998	17,472
さぬき市	5,245	65.2%	8	2,803	34.8%	9	8,048	22.0%	8	52.3%	6	36,588	15,379
東かがわ市	3,799	66.8%	7	1,888	33.2%	11	5,687	24.5%	2	49.9%	10	23,197	11,390
三豊市	7,255	60.2%	16	4,806	39.8%	2	12,061	24.3%	3	58.5%	1	49,552	20,623
土庄町	1,518	64.3%	12	844	35.7%	6	2,362	23.0%	5	46.9%	13	10,259	5,038
小豆島町	1,641	61.2%	14	1,039	38.8%	3	2,680	25.5%	1	45.7%	15	10,526	5,860
三木町	2,425	65.0%	10	1,306	35.0%	7	3,731	18.6%	14	54.2%	5	20,063	6,878
直島町	315	68.5%	4	145	31.5%	14	460	22.0%	8	45.6%	16	2,095	1,009
宇多津町	1,044	72.3%	1	399	27.7%	17	1,443	12.4%	17	46.1%	14	11,603	3,127
綾川町	2,398	61.2%	14	1,519	38.8%	3	3,917	22.1%	7	55.9%	2	17,731	7,006
琴平町	948	65.2%	8	505	34.8%	9	1,453	22.3%	6	43.2%	17	6,512	3,360
多度津町	2,164	67.1%	6	1,061	32.9%	12	3,225	20.4%	11	51.2%	9	15,808	6,303
まんのう町	1,955	58.9%	17	1,366	41.1%	1	3,321	23.8%	4	55.0%	3	13,964	6,038
計	85,819	66.9%		42,423	33.1%		128,242	18.9%		50.6%		678,140	253,245

- 1) 運転免許保有者数は、H22年12月末現在（香川県警察本部）
- 2) 高齢者人口は、H22.10.1現在（国勢調査）
- 3) 構成比①及び②は、各市町の運転免許保有高齢者に占める65歳～74歳の高齢者及び75歳以上の高齢者の各割合（①+②=100.0%）
- 4) 順位は、各構成比を降順に並べたもの

<表 1-4>（参考）H17 運転免許保有高齢者構成比が高い市町

免許保有高齢者構成比① (65歳～74歳/免許保有高齢者)		免許保有高齢者構成比② (75歳以上/免許保有高齢者)		免許保有高齢者構成比③ (免許保有高齢者/免許保有全年齢)		免許保有高齢者構成比④ (免許保有高齢者/高齢者人口)	
宇多津町	77.8%	琴南町	40.9%	財田町	25.3%	豊中町	59.6%
高松市	74.2%	綾上町	40.7%	仲南町	25.2%	高瀬町	58.9%
牟礼町	73.6%	財田町	38.7%	塩江町	24.5%	財田町	58.0%
香川町	73.5%	高瀬町	36.2%	綾上町	24.3%	三野町	56.9%
国分寺町	73.3%	山本町	35.8%	琴南町	23.4%	山本町	54.4%
丸亀市	73.1%	仁尾町	35.7%	豊中町	22.3%	仲南町	54.1%
坂出市	72.4%	仲南町	35.5%	高瀬町	22.2%	満濃町	53.5%
飯山町	72.3%	豊中町	35.4%	山本町	22.2%	仁尾町	52.4%
庵治町	72.2%	内海町	34.2%	池田町	22.2%	綾南町	51.8%
琴平町	71.4%	大野原町	34.0%	内海町	21.6%	綾上町	50.5%

- 1) H17年12月末現在の運転免許保有数（香川県警察本部）を基に集計したもの
- 2) 構成比①＝「運転免許保有65歳～74歳高齢者数」÷「運転免許保有高齢者数」を％で表したもの
 構成比②＝「運転免許保有75歳以上高齢者数」÷「運転免許保有高齢者数」を％で表したもの
 構成比③＝「運転免許保有高齢者数」÷「運転免許保有者数（全年齢）」を％で表したもの
 構成比④＝「運転免許保有高齢者数」÷「高齢者人口」を％で表したもの

(4) 高齢者事故件数の推移

■全国に比べ、特に、第1当事者が高齢者である事故が増加

過去10年間（H13→H22）における高齢者の全事故及び死亡事故について、全国と比較したところ、

○全事故の発生件数の推移は、第1当、第2当のいずれも、高齢者の増減率（H13→H22）が、全国に比べ大きい。特に、第1当が約1.5倍増になっている。（H13→H22増減率 第1当：香川県47.6%、全国34.2% 第2当：香川県18.2%、全国10.2%）。

○また、全事故における全年齢に占める高齢者の割合は、第1当、第2当のいずれも、全国の方がやや上昇幅（H13→H22増減率）が大きい（第1当：△1.1%ポイント 第2当：△1.7%ポイント）、各年の割合は全国に比べいずれも高い。

○死亡事故の発生件数の推移は、高齢者の増減率（H13→H22）が、全国では第1当、第2当のいずれも減少しているのに対し、本県では、第1当のみが減少している。

<表 1-5> 第1当・第2当別、全事故・死亡事故別発生件数

		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H13→H22 増減率(%)	H13→H22 ポイント差		
全事故	第1当	香川県	全年齢(人)	11,672	11,272	12,922	13,359	13,448	12,902	12,243	11,794	11,721	11,795	1.1	
		高年齢者(人)	1,407	1,442	1,625	1,790	1,886	1,870	1,930	1,780	2,103	2,077	47.6		
		構成比(%)	12.1	12.8	12.6	13.4	14.0	14.5	15.8	15.1	17.9	17.6		5.5	
		全国ポイント差	3.4	3.3	2.6	2.8	2.8	2.6	2.7	1.1	2.9	2.3		△1.1	
		全国	全年齢(人)	947,169	936,712	947,993	952,191	933,828	886,864	832,454	766,147	736,688	725,773	△23.4	
		高年齢者(人)	82,844	88,575	94,816	100,930	104,455	105,714	108,922	107,499	110,154	111,214	34.2		
	構成比(%)	8.7	9.5	10.0	10.6	11.2	11.9	13.1	14.0	15.0	15.3		6.6		
	第2当	香川県	全年齢(人)	11,672	936,712	947,993	952,191	933,828	12,902	12,243	11,794	11,721	11,795	1.1	
		高年齢者(人)	1,383	11,272	12,922	13,359	13,448	1,628	1,525	1,471	1,623	1,635	18.2		
		構成比(%)	11.8	1.2	1.4	1.4	1.4	12.6	12.5	12.5	13.8	13.9		2.1	
		全国ポイント差	3.2	△7.9	△8.0	△8.2	△8.5	2.2	1.3	0.8	1.5	1.5		△1.7	
		全国	全年齢(人)	947,169	936,712	947,993	952,191	933,828	886,864	832,454	766,147	736,688	725,773	△23.4	
高年齢者(人)		81,349	85,027	88,775	91,876	92,094	92,530	93,090	89,972	90,577	89,664	10.2			
構成比(%)	8.6	9.1	9.4	9.6	9.9	10.4	11.2	11.7	12.3	12.4		3.8			
死亡事故	第1当	香川県	全年齢(人)	128	80	93	85	72	92	74	59	67	63	△50.8	
		高年齢者(人)	27	20	23	16	14	17	13	16	14	24	△11.1		
		構成比(%)	21.1	25.0	24.7	18.8	19.4	18.5	17.6	27.1	20.9	38.1		17.0	
		全国ポイント差	4.4	7.4	6.6	0.2	△0.4	△1.9	△3.1	3.7	△2.3	14.5		10.1	
		全国	全年齢(人)	8,414	7,993	7,456	7,084	6,625	6,147	5,587	5,025	4,773	4,726	△43.8	
		高年齢者(人)	1,408	1,409	1,350	1,320	1,313	1,257	1,157	1,175	1,109	1,113	△21.0		
	構成比(%)	16.7	17.6	18.1	18.6	19.8	20.4	20.7	23.4	23.2	23.6		6.9		
	第2当	香川県	全年齢(人)	128	80	93	85	72	92	74	59	67	63	△50.8	
		高年齢者(人)	31	20	23	16	14	40	35	26	30	31	0.0		
		構成比(%)	24.2	25.0	24.7	18.8	19.4	43.5	47.3	44.1	44.8	49.2		25.0	
		全国ポイント差	△0.1	△0.3	△2.3	△9.0	△9.1	13.5	14.0	10.9	10.2	13.6		13.7	
		全国	全年齢(人)	8,414	7,993	7,456	7,084	6,625	6,147	5,587	5,025	4,773	4,726	△43.8	
高年齢者(人)		2,043	2,025	2,015	1,966	1,889	1,846	1,861	1,666	1,652	1,681	△17.7			
構成比(%)	24.3	25.3	27.0	27.8	28.5	30.0	33.3	33.2	34.6	35.6		11.3			

1) 「交通事故統計年報」（警察庁交通局）

2) 全事故及び死亡事故とも、当事者不明及び単独事故を含む

3) 死亡事故は発生年月日を基に集計、それ以外は統計処理年月日を基に集計したもの

(5) 高齢ドライバーの自動車事故件数の推移

■全国に比べ、高齢ドライバーによる事故が増加

特に、第1当事者が75歳以上の高齢ドライバーである事故が2.4倍増加

過去10年間（H13→H22）における高齢者の全事故及び死亡事故のうち、第1当が高齢ドライバーである自動車事故（二輪車を除く）について、全国と比較したところ、

- 全事故の発生件数の推移は、高齢者全体の増減率（H13→H22、以下同じ）が62.3%と、全国（42.8%）に比べ大きい。特に、75歳以上の高齢者が10年間で2.4倍に増加しており（増減率143.2%）、全国の75歳以上高齢者の増減率（112.7%増）以上に増加している。
- また、全年齢に占める高齢者の割合は、全国の方がやや上昇幅（H13→H22増減率）が大きい（香川6.3%ポイント、全国7.1%ポイント）、各年の割合は、H20年を除き、毎年、全国を上回っている。さらに、高齢者全体に占める75歳以上の高齢者の割合も、全国に比べ高い（H22 香川県35.9%、全国30.9%、5.0%ポイント）。
- 死亡事故の発生件数の推移は、高齢者全体の減少幅（H13→H22増減率 Δ 25.0%）が、全国（ Δ 3.9%）に比べ大きい。しかし、全年齢に占める高齢者の割合は、全国に比べ、上昇幅（H13→H22増減率）が3.4%ポイント大きい（香川11.7%ポイント、全国8.3%ポイント）。

<表 1-6>自動車事故（第1当）発生件数の推移

		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	構成比	H13→22 増減率(%)	H13→22 ポイント差	
全事故	香川県	全年齢(人)	10,473	10,121	11,645	12,063	12,042	11,653	11,007	10,589	10,515	10,645		1.6	
		65歳～74歳(人)	837	846	926	1,045	1,044	1,032	1,034	981	1,126	1,145	64.1%	36.8	
		75歳以上(人)	264	295	392	462	511	535	586	515	670	642	35.9%	143.2	
		高齢者全体(人)	1,101	1,141	1,318	1,507	1,555	1,567	1,620	1,496	1,796	1,787	100.0%	62.3	
		構成比(%)	10.5	11.3	11.3	12.5	12.9	13.4	14.7	14.1	17.1	16.8			6.3
		全国ポイント差	2.1	2.1	1.5	2.1	1.8	1.5	1.6	0.0	2.0	1.3			Δ 0.8
全事故	全国	全年齢(人)	838,753	826,476	839,002	840,064	824,657	784,757	734,990	676,713	653,971	647,993		Δ 22.7	
		65歳～74歳(人)	55,791	58,928	62,636	65,476	67,319	67,911	69,249	68,067	69,097	69,487	69.1%	24.5	
		75歳以上(人)	14,592	16,970	19,254	22,096	24,121	25,191	26,950	27,504	29,677	31,034	30.9%	112.7	
		高齢者全体(人)	70,383	75,898	81,890	87,572	91,440	93,102	96,199	95,571	98,774	100,521	100.0%	42.8	
		構成比(%)	8.4	9.2	9.8	10.4	11.1	11.9	13.1	14.1	15.1	15.5			7.1
		全国ポイント差	6.0	Δ 0.4	2.6	Δ 1.9	2.3	Δ 0.5	Δ 0.7	Δ 1.5	Δ 5.5	9.4			3.4
死亡事故	香川県	全年齢(人)	109	64	76	74	57	80	62	49	55	50		Δ 54.1	
		65歳～74歳(人)	10	6	9	6	6	10	6	8	5	6	40.0%	Δ 40.0	
		75歳以上(人)	10	2	4	3	4	3	4	1	3	9	60.0%	Δ 10.0	
		高齢者全体(人)	20	8	13	9	10	13	10	9	8	15	100.0%	Δ 25.0	
		構成比(%)	18.3	12.5	17.1	12.2	17.5	16.3	16.1	18.4	14.5	30.0			11.7
		全国ポイント差	6.0	Δ 0.4	2.6	Δ 1.9	2.3	Δ 0.5	Δ 0.7	Δ 1.5	Δ 5.5	9.4			3.4
死亡事故	全国	全年齢(人)	6,636	6,304	4,959	5,640	5,341	4,906	4,493	3,986	3,804	3,798		Δ 42.8	
		65歳～74歳(人)	565	552	470	513	483	520	435	473	426	430	55.1%	Δ 23.9	
		75歳以上(人)	248	262	247	285	331	303	319	320	335	351	44.9%	41.5	
		高齢者全体(人)	813	814	717	798	814	823	754	793	761	781	100.0%	Δ 3.9	
		構成比(%)	12.3	12.9	14.5	14.1	15.2	16.8	16.8	19.9	20.0	20.6			8.3
		全国ポイント差	6.0	Δ 0.4	2.6	Δ 1.9	2.3	Δ 0.5	Δ 0.7	Δ 1.5	Δ 5.5	9.4			3.4

- 1) 全国は、「交通事故統計年報」（警察庁交通局）
- 2) 香川県は、香川県警察本部の交通事故統計データによる
- 3) 死亡事故は発生日を基に集計、それ以外は統計処理年月日を基に集計したもの
- 4) すべて二輪車を含まない

(6) 高齢ドライバー（第1当）の事故の特徴

過去10年間（H13→H22）における第1当が高齢ドライバーである自動車事故（二輪車を除く）から、その特徴を分析したところ、

①発生場所（＜表 1-7＞）

**高齢ドライバーの全事故は、昼の単路直線
死亡事故は、昼の信号なし交差点**

高齢ドライバーの全事故件数に占める昼夜別・発生場所別件数の構成比については、高齢者は昼の単路直線が30.0%と最も高い。なお、生産年齢等においても同様に、昼の単路直線(30.8%)が高い。

また、死亡事故では、高齢者が昼の信号なし交差点(25.2%)に対し、生産年齢等は夜の単路直線(25.7%)である。

しかし、交差点全体と単路全体の構成比の比較において、高齢者は、全事故、死亡事故ともに交差点の割合が高い(全事故59.3%、死亡事故53.9%)。なお、生産年齢等も、全事故は、交差点全体の構成比が単路全体に比べ高い。交差点全体の構成比における高齢者と生産年齢等との比較では、高齢者が4.7%ポイント高い(高齢者59.3%、生産年齢等54.6%)。

②発生時間帯（＜表 1-8＞＜図 1-1＞＜図 1-3＞）

**高齢ドライバーの全事故・死亡事故は、生活行動（外出時間）に応じた時間帯に多発
死亡事故は外出を控える時間帯にも多い**

全事故では、高齢者の外出割合に応じ、AM9時からPM6時までの間に多発しており、AM9時からPM0時までの間の構成比（発生件数の合計に占める各時間帯の件数の割合、以下同じ）が28.0%と最も高い。

しかしながら、外出割合との比較においては、PM6時からAM6時の外出割合が5.0%と高齢者が外出を控える時間帯であるにもかかわらず、事故発生割合が11.8%と外出割合に比べ高い(6.8%ポイント)。

また、死亡事故も、全事故と同様に、高齢者の外出割合に応じ、AM9時からPM6時までの間に多発しており、AM9時からPM0時までの間の構成比が26.1%と最も高い。外出割合との比較においては、高齢者が外出を控える時間帯（PM6時からAM6時）の構成比が25.2%と高く、全事故の同時帯に比べ20.2%ポイント高い。

③事故類型（＜表 1-9＞＜表 1-10＞ ＜表 1-11＞）

人対車両事故が約2.6倍、車両相互事故が約1.6倍、車両単独事故が1.3倍増

高齢者（第1当）自動車事故件数に占める各事故類型件数の割合は、全国と同様に、車両相互が最も高く、車両相互と車両単独が全国を上回り、人対車両は全国を下回っている。増減率（H13→H22、以下同じ）は、各事故類型とも、全国に比べ高く、特に人対車両の差が大きい（香川県155.1%、全国64.4%）。

本県の全年齢との比較においては、人対車両と車両単独の割合が全年齢を上回り、車両単独がその差が1.4%ポイントと大きい。（＜表 1-9＞）

高齢ドライバーの車両単独の増減率は、75歳以上の高齢者が86.4%と、65歳～74歳の高齢者(7.1%)に比べ高く、全国の75歳以上の高齢者(71.9%)と比較しても高い。また、高齢ドライバーの車両単独事故における人的要因としては、操作誤りによるものの割合が高く、全国よりも高い。なお、操作誤りに比べ発生件数が少ないが、発見遅れの増加率が66.7%と大きい。（＜表 1-10＞）

<表 1-11>

④危険認知速度（ドライバーが危険を感知した時点の速度）（<図 1-4>）
 生産年齢等に比べ認知速度が低い、死亡事故はこの差がより顕著

生産年齢に比べ、高齢ドライバーは危険認知速度が低く、全事故では、30km以下（停止中除く）が、高齢者 73.5%に対し、生産年齢 67.2%である（6.3%ポイント）。特に、死亡事故では、生産年齢との差が顕著である（高齢者 32.1%、生産年齢 17.7%、14.4%ポイント）。

<表 1-7>高齢者の自動車事故（第1当）昼夜別事故発生場所

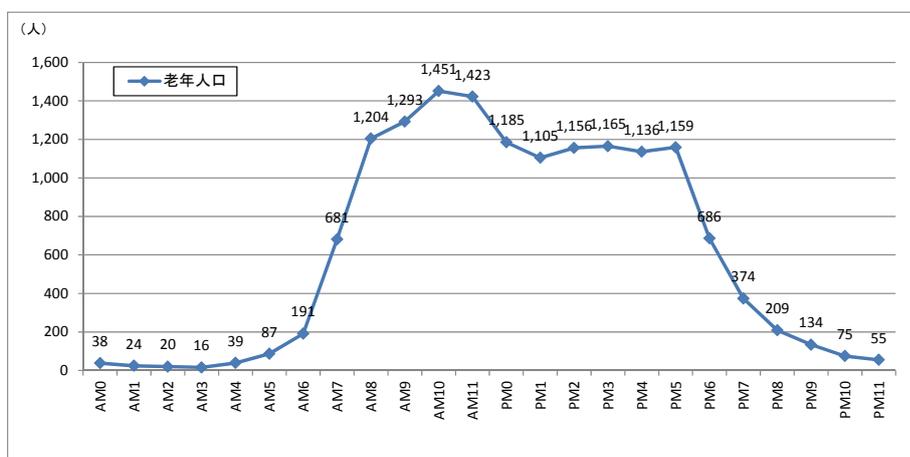
	交差点	信号あり			信号なし			交差点付近			小計					
		昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計			
全事故	生産年齢等	12,427	4,553	16,980	22,180	3,703	25,883	7,206	2,236	9,442	41,813	10,492	52,305			
	構成比(%)	13.0	4.7	17.7	23.1	3.9	27.0	7.5	2.3	9.8	43.6	10.9	54.6			
	高齢者全体	2,713	329	3,042	4,278	323	4,601	1,076	123	1,199	8,067	775	8,842			
	構成比(%)	18.2	2.2	20.4	28.7	2.2	30.9	7.2	0.8	8.0	54.1	5.2	59.3			
	生産年齢等ポイント差	5.2	△ 2.5	2.7	5.6	△ 1.7	3.9	△ 0.3	△ 1.5	△ 1.8	10.5	△ 5.7	4.7			
	単路	カーブ・屈折			直線			トンネル			橋			小計		
		昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計
	生産年齢等	2,296	701	2,997	29,514	7,920	37,434	60	13	73	312	92	404	32,182	8,726	40,908
	構成比(%)	2.4	0.7	3.1	30.8	8.3	39.1	0.1	0.0	0.1	0.3	0.1	0.4	33.6	9.1	42.7
	高齢者全体	454	41	495	4,474	484	4,958	5	0	5	36	5	41	4,969	530	5,499
	構成比(%)	3.0	0.3	3.3	30.0	3.2	33.3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.3	33.3	3.6	36.9
	生産年齢等ポイント差	0.6	△ 0.4	0.2	△ 0.8	△ 5.1	△ 5.8	△ 0.1	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 5.5	△ 5.8
	その他	踏切			一般交通場所			小計			合計					
昼		夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	
生産年齢等	19	10	29	2,108	508	2,616	2,127	518	2,645	76,122			19,736			95,858
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	2.2	0.5	2.7	2.2	0.5	2.8	79.4			20.6			100.0
高齢者全体	5	2	7	509	49	558	514	51	565	13,550			1,356			14,906
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	3.4	0.3	3.7	3.4	0.3	3.8	90.9			9.1			100.0
生産年齢等ポイント差	0.0	0.0	0.0	1.2	△ 0.2	1.0	1.2	△ 0.2	1.0	11.5			△ 11.5			
死亡事故	生産年齢等	45	48	93	64	56	120	14	44	58	123	148	271			
	構成比(%)	8.0	8.6	16.6	11.4	10.0	21.4	2.5	7.8	10.3	21.9	26.4	48.3			
	高齢者全体	11	6	17	29	7	36	6	3	9	46	16	62			
	構成比(%)	9.6	5.2	14.8	25.2	6.1	31.3	5.2	2.6	7.8	40.0	13.9	53.9			
	生産年齢等ポイント差	1.6	△ 3.4	△ 1.8	13.8	△ 3.9	9.9	2.7	△ 5.2	△ 2.5	18.1	△ 12.5	5.6			
	単路	カーブ・屈折			直線			トンネル			橋			小計		
		昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計
	生産年齢等	39	35	74	64	144	208	0	0	0	1	3	4	104	182	286
	構成比(%)	7.0	6.2	13.2	11.4	25.7	37.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.7	18.5	32.4	51.0
	高齢者全体	10	3	13	21	18	39	0	0	0	1	0	1	32	21	53
	構成比(%)	8.7	2.6	11.3	18.3	15.7	33.9	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9	27.8	18.3	46.1
	生産年齢等ポイント差	1.7	△ 3.6	△ 1.9	6.9	△ 10.0	△ 3.2	0.0	0.0	0.0	0.7	△ 0.5	0.2	9.3	△ 14.1	△ 4.9
	その他	踏切			一般交通場所			小計			合計					
昼		夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	
生産年齢等	3	0	3	1	0	1	4	0	4	231			330			561
構成比(%)	0.5	0.0	0.5	0.2	0.0	0.2	0.7	0.0	0.7	41.2			58.8			100.0
高齢者全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78			37			115
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.8			32.2			100.0
生産年齢等ポイント差	△ 0.5	0.0	△ 0.5	△ 0.2	0.0	△ 0.2	△ 0.7	0.0	△ 0.7	26.6			△ 26.6			

- 1) 事故発生件数は、香川県警察本部の交通事故データによるもの（発生日月日を基に集計したもの）
- 2) すべて二輪車を含まない
- 3) 生産年齢等とは、65歳未満の者
- 4) 一般交通の場所とは、駐車場、パーキングエリア等をいう

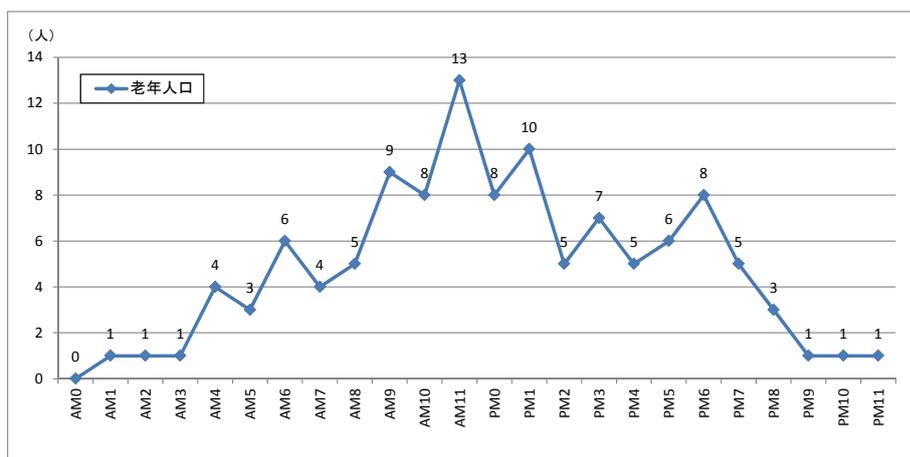
<表 1-8>高齢者の自動車事故（第1当）時間帯別発生件数と外出割合

		AM0 ～6時	AM6 ～9時	AM9 ～PM0時	PM0 ～3時	PM3 ～6時	PM6 ～9時	PM9 ～AM0時	計
全事故	高齢者全体	224	2,076	4,167	3,446	3,460	1,269	264	14,906
	構成比 (%)	1.5	13.9	28.0	23.1	23.2	8.5	1.8	100.0
	外出割合ポイント差	0.5	2.9	△ 15.0	3.1	2.2	4.5	1.8	
死亡事故	高齢者全体	10	15	30	23	18	16	3	115
	構成比 (%)	8.7	13.0	26.1	20.0	15.7	13.9	2.6	100.0
	外出割合ポイント差	8.0	0.6	△ 23.2	△ 3.4	△ 8.0	9.5	2.2	
外出割合 (%)		0.7	12.4	49.3	23.4	23.7	4.4	0.4	114.3
外出割合(補正值) (%)		1.0	11.0	43.0	20.0	21.0	4.0	0.0	100.0

- 1) 事故発生件数は、香川県警察本部の交通事故統計データによる
- 2) 外出割合は、高齢者の交通安全行動調査 (H9 総務庁)
- 3) 事故発生件数は、第1当が高齢者である自動車事故（二輪車を除く）で、発生年月日を基に集計したもの



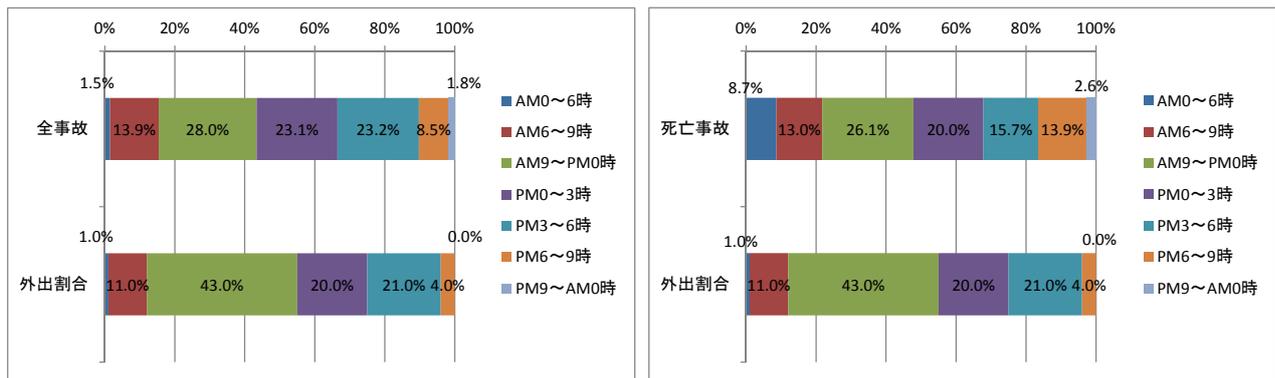
<図 1-1>時間帯別 高齢者の自動車事故（第1当）発生件数（全事故）



<図 1-2>時間帯別 高齢者の自動車事故（第1当）発生件数（死亡事故）

<図 1-1><図 1-2>

- 1) 香川県警察本部の交通事故統計データによる
- 2) 事故発生件数は、第1当が高齢者である自動車事故（二輪車を除く）で、発生年月日を基に集計したもの



<図 1-3> 時間帯別 高齢者の自動車事故（第1当）時間帯別発生件数と外出割合

- 1) 香川県警察本部の交通事故統計データによる
- 2) 外出割合は、高齢者の交通安全行動調査（H9 総務庁）
- 3) 事故発生件数は、第1当が高齢者である自動車事故（二輪車を除く）で、発生年月日を基に集計したもの

<表 1-9> 高齢者の自動車事故（第1当）事故類型別発生件数の推移

		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	計	構成比 (%)	H13→H22 増減率 (%)	
人対車両	香川	全年齢	539	589	593	568	566	559	541	596	595	610	5,756	5.2	13.2
		高齢者	49	72	84	82	84	86	102	109	109	125	902	6.1	155.1
	全国	全年齢	67,241	67,133	67,496	65,439	63,611	61,949	58,641	57,024	55,931	56,638	621,103	8.1	△ 15.8
		高齢者	6,363	6,843	7,445	7,830	8,013	8,620	8,829	9,597	10,028	10,460	84,028	9.4	64.4
車両相互	香川	全年齢	9,410	8,958	10,436	10,885	10,830	10,485	9,927	9,484	9,456	9,541	99,412	89.8	1.4
		高齢者	973	989	1,148	1,341	1,376	1,373	1,406	1,282	1,587	1,561	13,036	87.6	60.4
	全国	全年齢	738,152	727,603	740,417	744,507	731,698	695,410	652,453	598,315	578,553	572,192	6,779,300	88.4	△ 22.5
		高齢者	60,383	65,303	70,442	75,620	79,023	79,959	83,028	81,705	84,466	85,786	765,715	85.9	42.1
車両単独	香川	全年齢	515	573	615	608	644	607	536	508	463	493	5,562	5.0	△ 4.3
		高齢者	78	80	86	84	94	108	110	105	100	101	946	6.4	29.5
	全国	全年齢	33,262	31,658	30,996	30,045	29,273	27,351	23,837	21,323	20,198	19,121	267,064	3.5	△ 42.5
		高齢者	3,619	3,732	3,979	4,108	4,383	4,510	4,321	4,252	4,397	4,262	41,563	4.7	17.8
列車	香川	全年齢	3	0	1	1	1	2	3	1	0	1	13	0.0	△ 66.7
		高齢者	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	4	0.0	△ 100.0
	全国	全年齢	98	82	93	73	75	47	59	51	37	42	657	0.0	△ 57.1
		高齢者	18	20	24	14	21	13	21	17	9	13	170	0.0	△ 27.8
計	香川	全年齢	10,467	10,120	11,645	12,062	12,041	11,653	11,007	10,589	10,514	10,645	110,743	100.0	1.7
		高齢者	1,101	1,141	1,318	1,507	1,555	1,567	1,620	1,496	1,796	1,787	14,888	100.0	62.3
	全国	全年齢	838,753	826,476	839,002	840,064	824,657	784,757	734,990	676,713	654,719	647,993	7,668,124	100.0	△ 22.7
		高齢者	70,383	75,898	81,890	87,572	91,440	93,102	96,199	95,571	98,900	100,521	891,476	100.0	42.8

- 1) 香川県及び全国ともに警察庁交通局の交通事故統計データによる
- 2) 二輪車を除く

<表 1-10> 高齢者の自動車事故（第1当）車両単独事故の推移

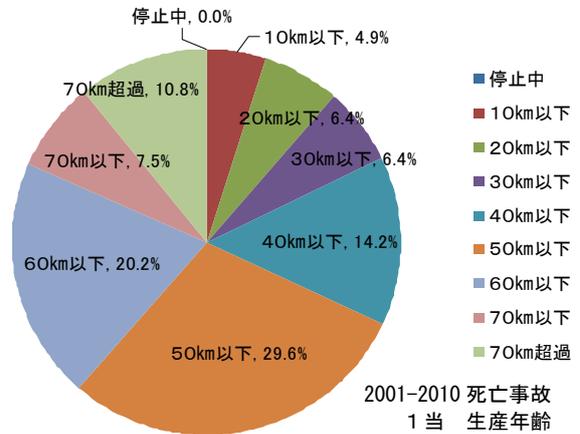
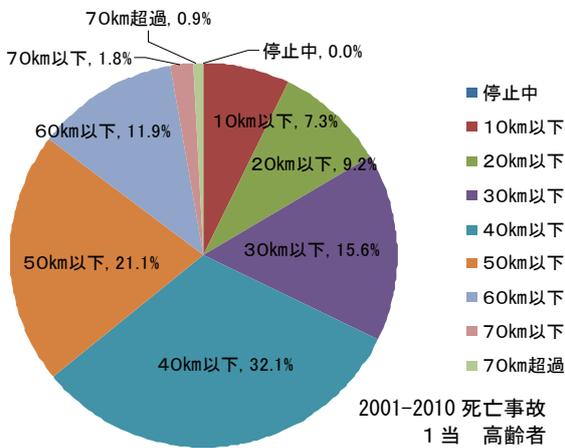
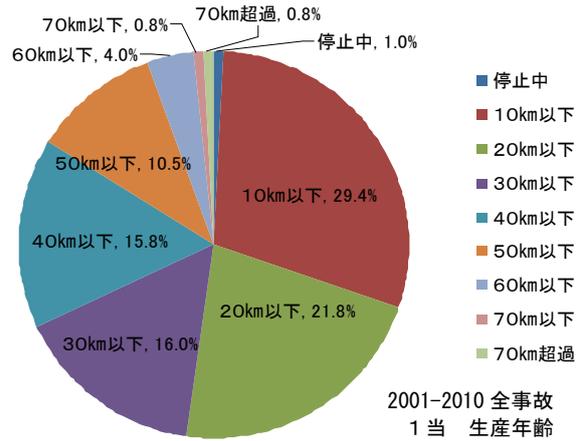
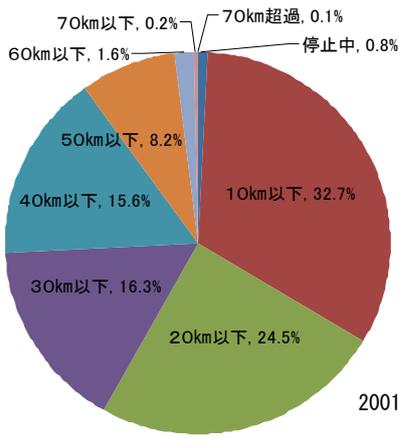
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	計	H13→H22 増減率 (%)	
車両単独	香川県	65歳～74歳(人)	56	55	56	56	60	69	65	50	57	60	584	7.1
		構成比 (%)	71.8	68.8	65.1	66.7	63.8	63.9	59.1	47.6	57.0	59.4	61.7	△ 12.4
		75歳以上(人)	22	25	30	28	34	39	45	55	43	41	362	86.4
		構成比 (%)	28.2	31.3	34.9	33.3	36.2	36.1	40.9	52.4	43.0	40.6	38.3	12.4
	高齢者全体		78	80	86	84	94	108	110	105	100	101	946	29.5
	全国	65歳～74歳(人)	2,587	2,625	2,726	2,713	2,837	2,856	2,684	2,508	2,574	2,488	26,598	△ 3.8
		構成比 (%)	71.5	70.3	68.5	66.0	64.7	63.3	62.1	59.0	58.5	58.4	64.0	△ 13.1
		75歳以上(人)	1,032	1,107	1,253	1,395	1,546	1,654	1,637	1,744	1,823	1,774	14,965	71.9
構成比 (%)		28.5	29.7	31.5	34.0	35.3	36.7	37.9	41.0	41.5	41.6	36.0	13.1	
高齢者全体		3,619	3,732	3,979	4,108	4,383	4,510	4,321	4,252	4,397	4,262	41,563	17.8	

- 1) 香川県及び全国ともに警察庁交通局の交通事故統計データによる
- 2) 構成比＝全国・香川県別「65歳～74歳の高齢者件数（75歳以上の高齢者件数）」÷「高齢者全体件数」
- 3) 二輪車を除く

<表 1-11> 高齢者の自動車事故（第1当） 車両単独事故における人的要因

			H13	H22	H13→H22 合計	構成比① (%)	構成比② (%)	構成比③ (%)	H13→H22 増減率(%)
操作誤り	香川県	全年齢(人)	317	242	3,296	/	59.3	/	△ 23.7
		65歳～74歳(人)	28	24	364	59.7	6.5	38.5	△ 14.3
		75歳以上(人)	15	24	246	40.3	4.4	26.0	60.0
		高齢者全体	43	48	610	100.0	11.0	64.5	11.6
	全国	全年齢(人)	13,820	8,011	114,099	/	42.7	/	△ 42.0
		65歳～74歳(人)	1,160	1,075	12,093	61.4	4.5	29.1	△ 7.3
		75歳以上(人)	509	856	7,595	38.6	2.8	18.3	68.2
		高齢者全体	1,669	1,931	19,688	100.0	7.4	47.4	15.7
判断誤り	香川県	全年齢(人)	25	11	160	/	2.9	/	△ 56.0
		65歳～74歳(人)	4	2	13	81.3	0.2	1.4	△ 50.0
		75歳以上(人)	1	0	3	18.8	0.1	0.3	△ 100.0
		高齢者全体	5	2	16	100.1	0.3	1.7	△ 60.0
	全国	全年齢(人)	5,140	1,835	32,548	/	12.2	/	△ 64.3
		65歳～74歳(人)	213	147	1,773	71.1	0.7	4.3	△ 31.0
		75歳以上(人)	67	71	722	28.9	0.3	1.7	6.0
		高齢者全体	280	218	2,495	100.0	0.9	6.0	△ 22.1
発見遅れ	香川県	全年齢(人)	169	238	2,084	/	37.5	/	40.8
		65歳～74歳(人)	24	33	205	64.5	3.7	21.7	37.5
		75歳以上(人)	6	17	113	35.5	2.0	11.9	183.3
		高齢者全体	30	50	318	100.0	5.7	33.6	66.7
	全国	全年齢(人)	14,102	9,181	118,999	/	44.6	/	△ 34.9
		65歳～74歳(人)	1,185	1,250	12,552	65.8	4.7	30.2	5.5
		75歳以上(人)	452	835	6,526	34.2	2.4	15.7	84.7
		高齢者全体	1,637	2,085	19,078	100.0	7.1	45.9	27.4
合計	香川県	全年齢(人)	515	493	5,562	/	100.0	/	△ 4.3
		65歳～74歳(人)	56	60	584	61.7	/	/	7.1
		75歳以上(人)	22	41	362	38.3	/	/	86.4
		高齢者全体	78	101	946	100.0	/	100.0	29.5
	全国	全年齢(人)	33,262	19,121	267,064	/	100.0	/	△ 42.5
		65歳～74歳(人)	2,587	2,488	26,598	64.0	/	/	△ 3.8
		75歳以上(人)	1,032	1,774	14,965	36.0	/	/	71.9
		高齢者全体	3,619	4,262	41,563	100.0	/	100.0	17.8

- 1) 香川県及び全国ともに警察庁交通局の交通事故統計データによる
- 2) 構成比①＝全国・香川県別 人的要因別「65歳～74歳(75歳以上)高齢者件数」÷人的要因別「高齢者全体件数」
- 3) 構成比②＝全国・香川県別 人的要因別「高齢者全体、65歳～74歳(75歳以上)高齢者件数」÷人的要因別「全年齢件数」
- 4) 構成比③＝全国・香川県別 人的要因別「高齢者全体、65歳～74歳(75歳以上)高齢者件数」÷「車両単独事故合計の高齢者全体件数」
- 5) 二輪車を除く
- 6) 合計は人的要因が不明なものを含む



<図 1-4> 年齢層別 自動車事故（第1当） 危険認知速度（全事故、死亡事故）

- 1) 香川県警察本部の交通事故統計データによる（発生年月日を基に集計したもの）
- 2) 二輪車を除く

(7) 高齢歩行者（第2当）の事故の特徴

過去10年間（H13→H22）における第2当が高齢歩行者である事故から、その特徴を分析したところ、

①発生場所

全事故は、歩行者が昼の直線単路（自転車が昼の信号なし交差点）

死亡事故は、歩行者が夜の直線単路（自転車が昼の信号なし交差点）

高齢歩行者の全事故に占める昼夜別・発生場所別件数の構成比は、昼の直線単路が29.0%と最も高い。なお、全年齢も同様に、昼の直線単路が高い（32.4%）。また、交差点全体と単路全体の構成比の比較においても、わずかながら単路全体が高い。

死亡事故では、高齢者（41.1%）、全年齢（39.4%）ともに夜の直線単路が最も高く、交差点全体と単路全体の構成比の比較においても単路全体が高い。

②自動車（第1当）と高齢歩行者（第2当）の交差点事故

交差点の全事故は右折、死亡事故は直進の自動車との事故が多い

第1当が自動車、第2当が高齢歩行者である交差点の事故（交差点付近を除く）について、第1当の自動車の行動類型別の割合をみたところ、全事故では、右折が43.6%と最も高く、次いで、直進39.5%、左折7.9%である。さらに、信号あり交差点では、右折が60.7%、直進22.5%、左折11.5%、信号なし交差点では、右折30.0%、直進53.1%、左折5.1%である。

また、死亡事故では、直進が75.8%と最も高く、右折12.1%、左折7.6%である。さらに、信号あり交差点では、直進55.6%、右折25.9%、左折18.5%、信号なし交差点では、直進89.7%、右折2.6%、左折0.0%である。

③発生時間帯

高齢歩行者の全事故は、夕方の薄暮期に最も多発

死亡事故は、夕方の薄暮期以降から早朝にかけて多発

全事故では、PM6時からPM9時が23.4%と最も高く、次いで、AM9時からPM0時、PM3時からPM6時の時間帯の順に多く発生している。なお、高齢者の外出割合が最も高いAM9時からPM0時では、発生割合と外出割合の差が20.9%ポイントである。

また、死亡事故においては、PM6時からPM9時が41.6%と最も高く、次いで、PM3時からPM6時15.1%、AM0時からAM6時13.0%である。夕方の薄暮期から早朝にかけての時間帯（PM6時からPM6時）における死亡事故発生割合の合計は63.8%であり、高齢者の外出割合が5.0%と低い時間帯であるにもかかわらず、死亡事故が非常に多発している。

<表 1-12> 高齢歩行者（第2当）の昼夜別事故発生場所

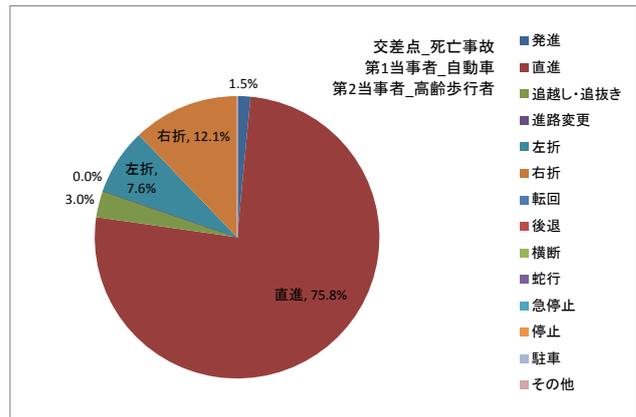
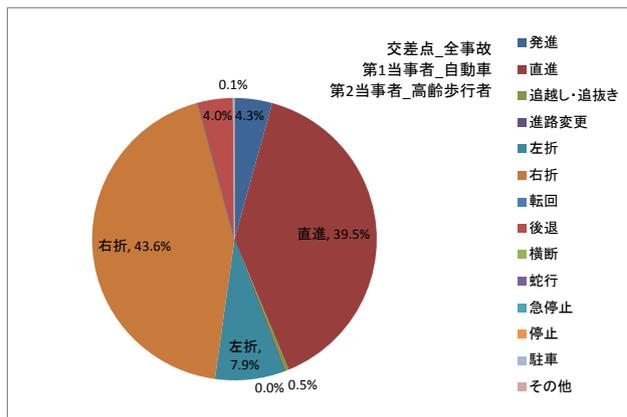
	交差点	信号あり			信号なし			交差点付近			小計					
		昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計			
全事故	全年齢	673	329	1,002	1,007	351	1,358	222	119	340	1,902	798	2,700			
	構成比(%)	10.3	5.0	15.3	15.4	5.4	20.7	3.4	1.8	5.2	29.0	12.2	41.2			
	高齢者全体	285	95	380	353	152	505	78	38	116	716	285	1,001			
	構成比(%)	12.5	4.2	16.6	15.4	6.7	22.1	3.4	1.7	5.1	31.3	12.5	43.8			
	全年齢ポイント差	2.2	△ 0.8	1.3	0.0	1.3	1.4	0.0	△ 0.1	△ 0.1	2.3	0.3	2.6			
	単路	カーブ・屈折			直線			トンネル			橋			小計		
		昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計
	全年齢	102	42	144	2,125	914	3,039	1	0	1	8	10	18	2,236	966	3,202
	構成比(%)	1.6	0.6	2.2	32.4	13.9	46.4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	34.1	14.7	48.9
	高齢者全体	46	21	67	662	325	987	1	0	1	0	4	4	709	350	1,059
	構成比(%)	2.0	0.9	2.9	29.0	14.2	43.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	31.0	15.3	46.3
	全年齢ポイント差	0.4	0.3	0.7	△ 3.4	0.3	△ 3.2	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.1	△ 3.1	0.6	△ 2.6
その他	踏切			一般交通場所			小計			合計						
	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	
全年齢	0	1	1	542	109	651	542	110	652	4,680			1,874		6,554	
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	8.3	1.7	9.9	8.3	1.7	9.9	71.4			28.6		100.0	
高齢者全体	0	1	1	203	21	224	203	22	225	1,628			657		2,285	
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	8.9	0.9	9.8	8.9	1.0	9.8	71.2			28.8		100.0	
全年齢ポイント差	0.0	0.0	0.0	0.6	△ 0.8	△ 0.1	0.6	△ 0.7	△ 0.1	△ 0.2			0.2			
死亡事故	交差点	信号あり			信号なし			交差点付近			小計					
		昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計			
	全年齢	12	20	32	10	41	51	4	27	31	26	88	114			
	構成比(%)	4.9	8.1	13.0	4.1	16.7	20.7	1.6	11.0	12.6	10.6	35.8	46.3			
	高齢者全体	10	17	27	10	29	39	4	14	18	24	60	84			
	構成比(%)	5.4	9.2	14.6	5.4	15.7	21.1	2.2	7.6	9.7	13.0	32.4	45.4			
	全年齢ポイント差	0.5	1.1	1.6	1.3	△ 1.0	0.4	0.6	△ 3.4	△ 2.9	2.4	△ 3.4	△ 0.9			
	単路	カーブ・屈折			直線			トンネル			橋			小計		
		昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計
	全年齢	8	8	16	18	97	115	0	0	0	0	1	1	26	106	132
	構成比(%)	3.3	3.3	6.5	7.3	39.4	46.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	10.6	43.1	53.7
	高齢者全体	7	4	11	13	76	89	0	0	0	0	1	1	20	81	101
構成比(%)	3.8	2.2	5.9	7.0	41.1	48.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	10.8	43.8	54.6	
全年齢ポイント差	0.5	△ 1.1	△ 0.6	△ 0.3	1.7	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.7	0.9	
その他	踏切			一般交通場所			小計			合計						
	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	
全年齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52			194		246	
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1			78.9		100.0	
高齢者全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44			141		185	
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.8			76.2		100.0	
全年齢ポイント差	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7			△ 2.7			

- 1) 事故発生件数は、香川県警察本部の交通事故データによるもの（発生年月日を基に集計したもの）
- 2) 生産年齢等とは、65歳未満の者
- 3) 一般交通の場所とは、駐車場、パーキングエリア等をいう

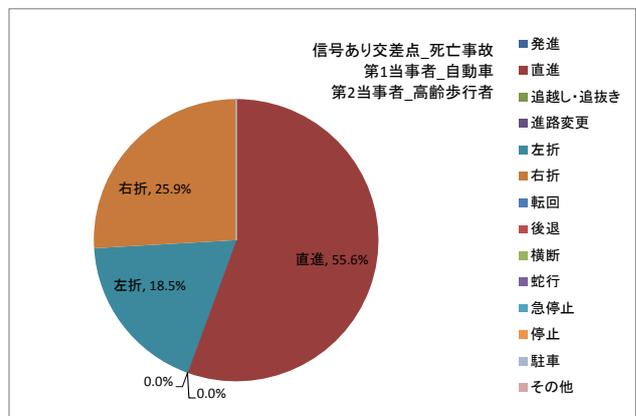
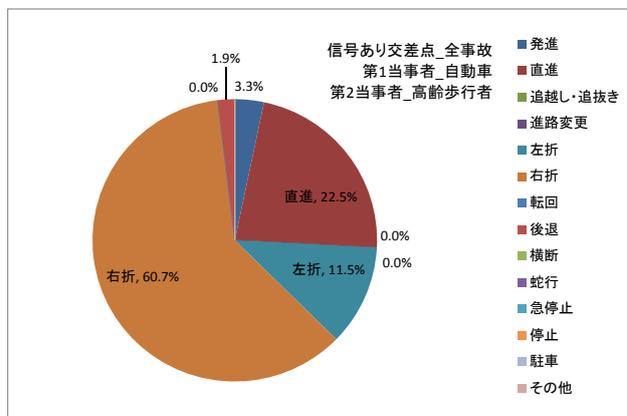
<表 1-13> 高齢自転車（第2当）の昼夜別事故発生場所

	交差点	信号あり			信号なし			交差点付近			小計					
		昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計			
全事故	全年齢	2,989	750	3,739	8,422	935	9,357	411	76	487	11,822	1,761	13,583			
	構成比(%)	15.9	4.0	19.9	44.8	5.0	49.7	2.2	0.4	2.6	62.8	9.4	72.2			
	高齢者全体	745	76	821	1,865	130	1,995	124	15	139	2,734	221	2,955			
	構成比(%)	17.1	1.7	18.8	42.7	3.0	45.7	2.8	0.3	3.2	62.7	5.1	67.7			
	全年齢ポイント差	1.2	△ 2.3	△ 1.1	△ 2.1	△ 2.0	△ 4.0	0.6	△ 0.1	0.6	△ 0.1	△ 4.3	△ 4.5			
	単路	カーブ・屈折			直線			トンネル			橋			小計		
		昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計
	全年齢	227	35	262	3,992	713	4,705	2	0	2	12	4	16	4,233	752	4,985
	構成比(%)	1.2	0.2	1.4	21.2	3.8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	22.5	4.0	26.5
	高齢者全体	45	5	50	1,121	147	1,268	0	0	0	5	0	5	1,171	152	1,323
	構成比(%)	1.0	0.1	1.1	25.7	3.4	29.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	26.8	3.5	30.3
	全年齢ポイント差	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.3	4.5	△ 0.4	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	△ 0.5	3.8
	その他	踏切			一般交通場所			小計			合計					
昼		夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	
全年齢	3	0	3	210	39	249	213	39	252	16,268		2,552	18,820			
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	1.1	0.2	1.3	1.1	0.2	1.3	86.4		13.6	100.0			
高齢者全体	1	0	1	72	12	84	73	12	85	3,978		385	4,363			
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	1.7	0.3	1.9	1.7	0.3	1.9	91.2		8.8	100.0			
全年齢ポイント差	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.6	0.6	0.1	0.6	4.8		△ 4.8				
死亡事故	交差点	信号あり			信号なし			交差点付近			小計					
		昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計			
	全年齢	15	7	22	38	10	48	2	7	9	55	24	79			
	構成比(%)	13.8	6.4	20.2	34.9	9.2	44.0	1.8	6.4	8.3	50.5	22.0	72.5			
	高齢者全体	10	5	15	32	8	40	2	4	6	44	17	61			
	構成比(%)	11.8	5.9	17.6	37.6	9.4	47.1	2.4	4.7	7.1	51.8	20.0	71.8			
	全年齢ポイント差	△ 2.0	△ 0.5	△ 2.6	2.7	0.2	3.1	0.6	△ 1.7	△ 1.2	1.3	△ 2.0	△ 0.7			
	単路	カーブ・屈折			直線			トンネル			橋			小計		
		昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計
	全年齢	2	1	3	16	11	27	0	0	0	0	0	0	18	12	30
	構成比(%)	1.8	0.9	2.8	14.7	10.1	24.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.5	11.0	27.5
	高齢者全体	1	1	2	16	6	22	0	0	0	0	0	0	17	7	24
	構成比(%)	1.2	1.2	2.4	18.8	7.1	25.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	8.2	28.2
全年齢ポイント差	△ 0.6	0.3	△ 0.4	4.1	△ 3.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	△ 2.8	0.7	
その他	踏切			一般交通場所			小計			合計						
	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	昼	夜	計	
全年齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73		36	109			
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.0		33.0	100.0			
高齢者全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61		24	85			
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.8		28.2	100.0			
全年齢ポイント差	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8		△ 4.8				

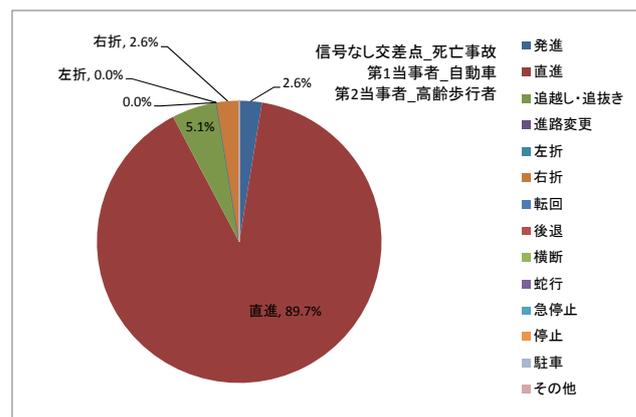
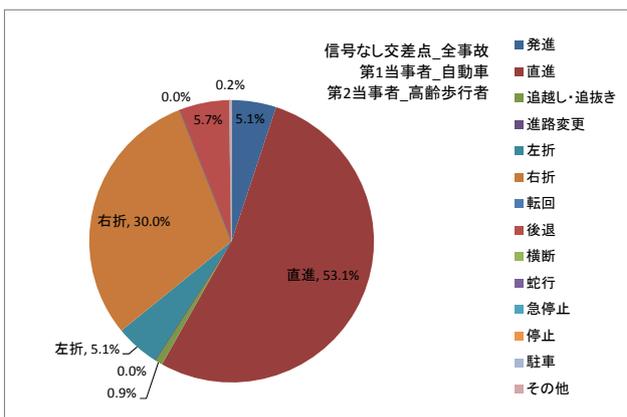
- 1) 事故発生件数は、香川県警察本部の交通事故データによるもの（発生年月日を基に集計したもの）
- 2) 一般交通の場所とは、駐車場、パーキングエリア等をいう



＜図 1-5＞ 第2当高齢歩行者と第1当自動車・交差点（全事故・死亡事故）の第1当の行動



＜図 1-6＞ 第2当高齢歩行者と第1当自動車・信号あり交差点（全事故・死亡事故）の第1当の行動

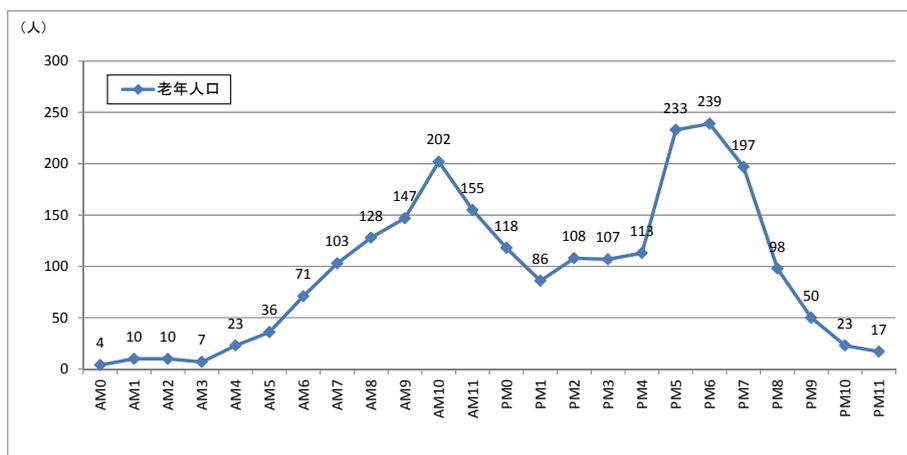


＜図 1-7＞ 第2当高齢歩行者と第1当自動車の信号なし交差点（全事故・死亡事故）の第1当の行動

- 1) 香川県警察本部の交通事故統計データによる（発生年月日を基に集計したもの）
- 2) 自動車は、二輪車を除く

<表 1-14> 高齢歩行者事故（第2当） 時間帯別発生件数と外出割合

		AM0 ～6時	AM6 ～9時	AM9 ～PM0時	PM0 ～3時	PM3 ～6時	PM6 ～9時	PM9 ～AM0時	計
全事故	高齢者全体	90	302	504	312	453	534	90	2,285
	構成比 (%)	3.9	13.2	22.1	13.7	19.8	23.4	3.9	100.0
	外出割合ポイント差	2.9	2.2	△ 20.9	△ 6.3	△ 1.2	19.4	3.9	
死亡事故	高齢者全体	24	16	16	7	28	77	17	185
	構成比 (%)	13.0	8.6	8.6	3.8	15.1	41.6	9.2	100.0
	外出割合ポイント差	12.3	△ 3.8	△ 40.7	△ 19.6	△ 8.6	37.2	8.8	
外出割合 (%)		0.7	12.4	49.3	23.4	23.7	4.4	0.4	114.3
外出割合(補正值) (%)		1.0	11.0	43.0	20.0	21.0	4.0	0.0	100.0



<表 1-14>

<図 1-8>

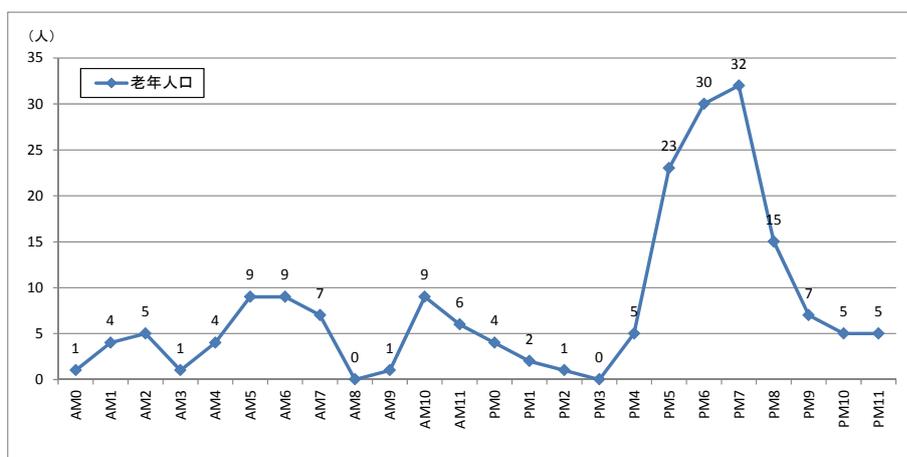
<図 1-9>

<図 1-10>

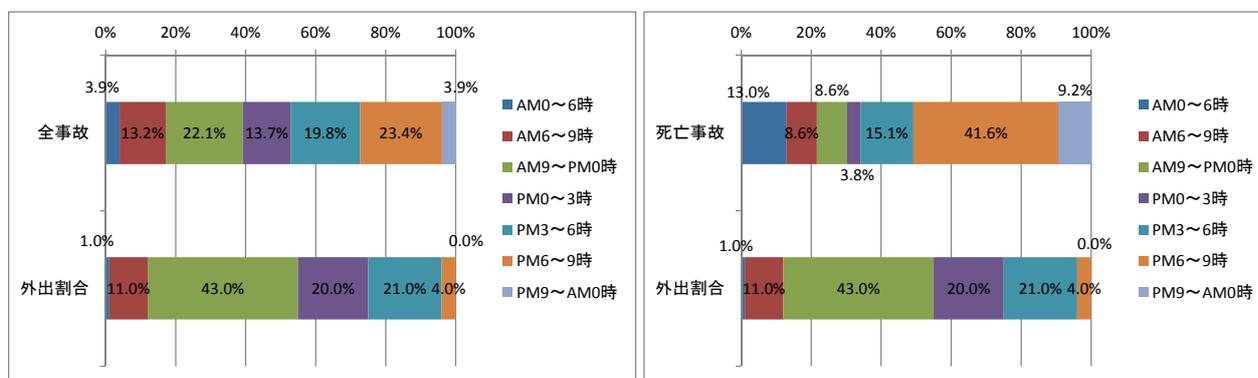
1) 事故発生件数は、香川県警察本部の交通事故統計データによる（発生年月日を基に集計したもの）

2) 外出割合は、高齢者の交通安全行動調査（H9総務庁）

<図 1-8> 時間帯別 事故発生件数（第2当高齢歩行者 全事故）



<図 1-9> 時間帯別 事故発生件数（第2当高齢歩行者 死亡事故）



<図 1-10> 時間帯別 事故発生件数割合（第2当高齢歩行者 全事故・死亡事故）

1-2 高齢者の交通事故多発要因の考察

本県の高齢者の交通事故（死亡事故を含む。）が多い原因として、これまで、高齢者人口の増加が指摘されてきたが、他にも原因があるのではないか？

■本県では、高齢者の移動手段として自動車（自家用車）が必要不可欠

- 本県では、公共交通機関の利便性が低いことなどから、自動車が主な移動手段になっている。
 - また、高齢単独世帯や高齢者夫婦のみの世帯など、高齢者のみの世帯が増加しており、今後、核家族化が進展する中で、生産年齢層の家族による送迎が期待できない高齢者が増加してくると考えられる。
- 以上のことなどが一因となり、自動車は本県の高齢者にとって移動手段として欠かせないものであると考えられる。

■全国に比べ運転免許保有高齢者が多く、高齢化率の上昇以上に運転免許保有者数が増加

- 本県では、全国に比べ、運転免許保有者に占める高齢者の割合が高い。また、全国と同様に、高齢化率の上昇幅以上に運転免許保有高齢者が増加しており、その上昇幅は、全国に比べ本県が大きい。このことから、本県は運転免許保有高齢者が多いと言え、高齢者にとって自動車が必要不可欠になっていることが裏づけられる。
- また、本県の75歳以上の運転免許保有高齢者数の上昇幅は全国に比べ低いですが、運転免許保有高齢者に占める75歳以上の高齢者の割合は全国に比べ高い。高齢者は年齢を重ねるとともに自動車の運転を行わなくなると考えられるが、本県では、年齢を重ねても自動車を運転し続ける必要があるという様子が見られる。
- 市町別における高齢者の運転免許保有状況では、高齢者に占める75歳以上の運転免許保有高齢者の割合が高い市町は郡部に多い。なお、割合が高い市部にあっても、平成の合併によって市になったあるいは市と合併した地域であり、市街地の形成が低い地域である。このことから、高齢者の社会生活において、自動車はなくてはならないものになっていると考えられる。

■全国に比べ高齢ドライバーが原因となる事故が増加

特に、75歳以上の高齢ドライバーが第1当事者である事故は2.4倍も増加
運転免許保有高齢者に占める割合以上に、75歳以上の高齢者の事故が発生

- これまで、交通安全対策において、高齢者は歩行者や自転車乗車者として交通弱者の観点でとらえてきたが、高齢者が第1当事者（過失責任割合が高い者）となる事故が増加している。
- この高齢者事故件数の増加は、主に高齢ドライバーが第1当事者になる事故件数の増加によるもので、全国に比べ増加している。生産年齢の事故が減少する中で、高齢ドライバーの事故件数の増加が、県全体の減少の妨げになっていると言える。
- 特に、75歳以上の高齢ドライバーが第1当事者である事故件数が増加しており、平成22年における高齢者（第1当）事故件数や運転免許保有高齢者数に占める75歳以上の高齢者の割合では、運転免許保有者の割合（75歳以上の高齢者33.1%）以上に、事故発生件数の割合（75歳以上の高齢者35.9%）が高い。

■加齢に伴う心身の機能低下によって、危険回避力等が低下

過去 10 年間に発生した交通事故から本県の高齢ドライバーの事故特徴を分析したところ、加齢による心身の機能低下に伴い、危険回避力等が低下することから、

- 生産年齢に比べ、車両単独事故の割合が高い。特に、過去 10 年間の単独事故の増減については、65 歳以上 74 歳未満の高齢者がほぼ同数であるのに対し、75 歳以上の高齢者は約 2 倍増となっている。さらに、車両単独事故における人的要因をみると、操作誤りによる事故の割合が最も高く、全国に比べ、75 歳以上の高齢者の割合が高い。以上のことから、年齢を重ねることで、瞬間的な判断や対応が行えず、自損事故が発生していると考えられる。
- また、高齢者は生産年齢に比べ、危険認知速度（ドライバーが危険を感知した時点の速度）が低く、低速度の場合でも危険回避行動までに時間がかかり回避できなかった、あるいは、スピード感覚が鈍ったため、スピードが出ている場合においても低速度と感じていることなどが考えられる。
- 高齢ドライバーの事故発生時間帯については、日中は行動割合に対応した時間帯に事故が発生しているが、死亡事故では、高齢者が外出を控える時間帯である薄暮期や夜間の事故件数が多く、行動割合以上に発生している。これは、視認力が低下するなど、昼間に比べ、集中力や注意力が低下し、危険回避等の対応が遅れることが原因ではないかと考えられる。

■ドライバー側にとっても発見しにくい時間帯などで多発

過去 10 年間に発生した交通事故から本県の高齢歩行者等が第 2 当事者となる事故の特徴として、

- 全事故、死亡事故ともに、直線単路での事故が多く、特に死亡事故は、夜の直線単路で多発している。また、発生時間別にみた場合も、外出割合が低い夜間や薄暮期の時間帯に多い。ドライバーにとっても、視認力が低下し、歩行者を発見しにくい時間帯や場所で発生していると言える。
- 交差点（交差点付近を除く）における高齢歩行者（第 2 当）とドライバー（第 1 当）の事故における事故発生時のドライバーの行動については、全事故では右折、死亡事故では直進の割合が高い。さらに、信号の有無で比較すると、信号なしでは直進、信号ありでは右折の割合が高く、ドライバーにとって危険予測や危険回避が増す場所で発生している。また、信号ありでは直進の割合は低い、他の年齢と比べると高く、高齢者が横断しきれていない又は押しボタン式信号等を適正に利用していないことなどが考えられる。